

# 命の大切さを学ぶ教室

12月22日の6時間目に、PTAとの共催で「命の大切さを学ぶ教室」を行いました。18年前に、交通事故で最愛のお子様を亡くされた方が講師となり、自らの体験を通して、命の大切さを語っていただきました。自身の辛く悲しい体験を通しての想い、家族や周りの人々への想いには、多くの生徒の心が揺さぶられたことと思います。また、「自分を思いやることができない人は、人を思いやることはできない。」「不完全な自分を受け入れて、不完全な自分を許す。」といった言葉からは、これからの自分の考え方や生き方に、大きな変化をもたらす、胸に響くものでした。

参加していただきました保護者の皆様にもお礼申し上げます。

